

2013年2月4日経営会議の概要

日時 : 2013年2月4日(月) 午前9時05分~午前11時10分
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、鷺北副市長、加藤副市長、政策経営部長、財務部長、経営改革室長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長
説明 : 議題1 子ども生活部長、子ども生活部次長、子育て支援課長、子育て相談担当課長 議題2 環境資源部長、施設建設担当部長、環境政策課長、循環型施設整備課長、環境政策課担当課長

議題1 : 保育料等の在り方について

(子ども生活部)

【付議の目的】

○保育所保育料及びその他の保育サービスにおける負担のあり方に係る市の方向性について、承認を受ける。

【提案の概要】

町田市では、認可保育所とそれ以外の保育サービスの利用者負担額に生じている格差などの課題を議論するため、2012年6月から「町田市保育料等の在り方検討委員会」を設置し、保育サービスの利用者負担の在り方及び公費負担の在り方について検討を進めてきた。

2012年12月に提出された「町田市保育料等の在り方検討委員会」の報告を踏まえ、認可保育所保育料及び特別保育料の利用者負担額や料金体系等について見直しを行うことで、認可保育所やその他の保育サービスを利用している児童の保護者だけでなく、家庭で子育てをしている保護者など、町田市で子育てをする全ての未就学児をもつ世帯に対して、子育て支援となる保育サービスを安定的に提供するとともに、各種保育サービス負担の公平性を確保する。

【主な意見】

- 保育料等の見直しに係る概要を簡潔にまとめ、利用者の負担割合などがどのように変わるのか、分かりやすく示すこと。
- 指摘された文言の整理をすること。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意したうえで進めていくこと。

【付議の目的】

○新たな「ごみの資源化施設」の内容と建設地を決定する。

【提案の概要】

稼動から 30 年以上が経過した町田リサイクル文化センターは、施設全体の老朽化が進み、修繕にかかる経費も年々増加傾向にあることから、新たな施設の建設は喫緊の課題となっている。

そこで、2011 年 4 月に策定した「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を受け、同年 5 月から「町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会」を設置し、新たな「ごみの資源化施設」の内容と建設候補地について検討を進めてきた。この検討結果を踏まえ、施設内容については、熱回収施設等（焼却施設・バイオガス化施設・不燃粗大ごみ処理施設）を一箇所に一体整備し、資源ごみ処理施設（プラスチック圧縮梱包施設、ピンカン選別処理施設等）を市内 3 箇所に分散化し整備する。建設候補地については、アクセスや収集運搬効率など建設候補地周辺の状況を勘案した結果を受け、熱回収施設等の建設地は町田リサイクル文化センター、資源ごみ処理施設についてはリレーセンターみなみ（既存施設）の他、相原エリア、上小山田西部エリアとし、2020 年度の施設稼動を目指して整備を進めていく。

【主な意見】

○バイオガス化施設など資源化施設の新たな整備に向けて、町田市のごみの資源化に対する基本的な考え方について、これまでの検討経緯も含め、市民に分かりやすく示す必要がある。

○新たな施設建設にあたっては、ごみの「資源化」を前提に整備を進めていくことを明示する必要がある。

○指摘された文言の整理をすること。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意したうえで進めていくこと。